

施策
2-1



自然と共生する 良好な生活環境の形成

施策で目指す姿

- 森林・河川・干潟などの環境保全対策を推進することにより、山・川・海など多彩で豊かな自然環境を次世代に引き継いでいきます。
- 大気汚染等の状況把握に努めるとともに、工場・事業場等の騒音・振動・悪臭防止対策を推進し、住みよい環境を次世代に引き継いでいきます。
- 環境学習・環境保全活動を推進し、市民や事業者の環境保全意識の向上を図ります。

施策の現状と課題

自然環境保全対策の推進

現状 ●本市の多彩で豊かな自然環境を保全するため、森林の適正管理や生物多様性*の保全等に関する取組を推進してきました。

課題 ○開発に伴う自然の改変や森林・農地の荒廃等により、自然環境が損なわれる恐れがあり、保全に向けた取組を促進する必要があります。

生活環境保全対策の推進

現状 ●大気・音環境の保全については、県が実施している測定結果を把握するとともに、工場・事業場等の騒音・振動・悪臭対策を推進してきました。

課題 ○本市は、おおむね良好な生活環境を維持していますが、快適で健全な生活を営むために、継続的に騒音・振動・悪臭等への対策を講じる必要があります。

環境保全に取り組む人づくりの推進

現状 ●環境問題に関する意識の向上を図るため、環境学習会等を開催したほか、美化活動に積極的に取り組む団体等への支援を行ってきました。

課題 ○近年の環境問題の動向に応じた環境学習会等を開催するとともに、市民・事業者・NPO*等との連携を図り、積極的かつ継続的な環境保全活動を展開する必要があります。

施策で目指す姿を実現するための基本事業

1

自然環境の保全

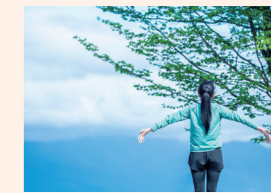
- 森林の有する多面的機能*の持続的発揮に向けて、森林環境譲与税*を活用し、適切な森林整備につながる取組を推進します。
- 希少野生動植物*の生息・生育状況の把握に努めるとともに、様々な野生動植物の生息・生育場所となる森林・河川・干潟などの保全対策を推進します。



2

大気・音環境の保全

- 工場・事業場等から発生する騒音・振動・悪臭等については、法令に基づき適切な指導を行うなど、発生源対策を推進します。
- 良好な生活環境を維持するために、大気汚染物質や航空機騒音の測定結果を把握し、関係機関との連携強化による保全対策に努めます。



3

環境保全意識の向上

- 学校や地域等において、環境について総合的に学習できる仕組みづくりを行うとともに、市民・事業者・NPO等との協働による環境保全活動を推進します。
- 地域の美化活動に積極的に取り組んでいる団体等への支援を行います。



くらし
くらし
くらし
くらし
くらし
くらし
くらし

「みんなができること」

everyone can do it!



市民一人一人で

- 森林の整備や海岸の美化活動等に積極的に参加しましょう。
- 生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来生物を野外に捨てないようにしましょう。
- 自動車の利用をできるだけ控えて、徒歩や自転車、公共交通機関を利用しましょう。
- 自動車を運転するときは、エコドライブ*に努めましょう。
- 市やNPO*等の団体が開催する自然体験学習会や講演会等に参加しましょう。



事業者で

- 開発を行う際は、自然の改変を回避する計画を立てるとともに、希少野生動植物*の生息・生育環境の保全に努めましょう。
- 事業場で発生する大気汚染物質や悪臭物質の排出抑制に努めましょう。

INTERVIEW

環境美化推進員
ななめき かずお
斜木 一夫 さん



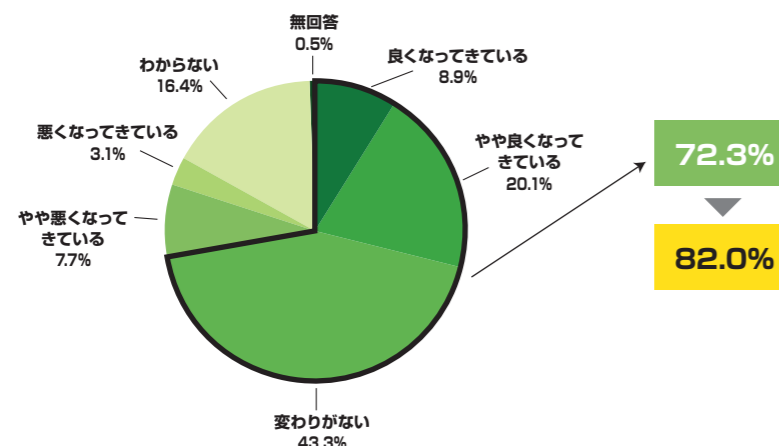
小さな美化が
地域や未来の美化に

10年以上、地域のごみ拾いや犬のふんの放置対策などを行ってきました。環境保全の意識は根付きつつありますが、一部ではルールを守れない人も。地域の環境はみんなのもの。他人任せにせず、自宅の前の清掃や河川アダプトへの協力など、一人一人の行動の小さな積み重ねが、未来の環境を守ることに繋がります。

施策の進捗状況を測るためのKPI

KPI (重要業績評価指標)	現状値	目標値
自然環境が保全(維持)されていると感じる市民の割合	72.3% (2022) ↑	82.0%
生物多様性*について知っている市民の割合	68.0% (2022) ↑	80.0%
海域の環境基準(COD)*達成地点数	3地点 (2021) ↑	4地点
生活環境が保全(維持)されていると感じる市民の割合	77.0% (2022) ↑	87.0%
大気・河川の環境基準達成率	75.1% (2021) ↑	90.0%

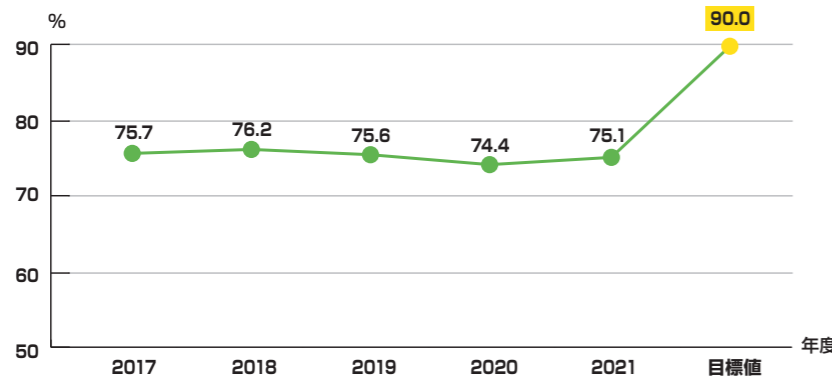
自然環境が保全(維持)されていると感じる市民の割合



現状値は設問「2,3年前と比べて市域の自然環境について」に「良くなってきている」「やや良くなってきている」「変わらない」と答えた人の割合。現状値の約10%増加を目指す。

出典:市民意識調査

大気・河川の環境基準達成率



環境基準達成率は、ほぼ横ばいで推移。2022年度に水質汚濁に係る環境基準項目の見直しが行われ、達成率が上昇する見込みであることから、現状値の約15%増加を目指す。

出典:県・市が実施する測定調査結果

Column 環境保全のためにできること

本市は風光明媚な霧島山や、そこから錦江湾奥に注ぐ清流天降川、その流域に広がる肥沃な田園、山麓から平野部まで点在する温泉群など、多彩で豊かな自然に恵まれています。この環境を守るには、市民・事業者・行政がそれぞれ地域社会の一員として互いに連携・協働し、長期的・持続的な視点で対策を考えていく必要があります。

本市では、毎年9月の第1日曜日を「ふれあいボランティアの日」と定め、この日を中心に、市民総出で清掃活動を行うとともに、各地域毎に「環境美化推進員」を配置し、環境パトロールやばい捨てごみの収集を行うなど、生活環境美化に関する啓発活動等を展開しています。さらに、生物多様性保全や地球温暖化*対策などの環境問題への理解を深めるため、団体を対象に出前講座*も実施しています。

私たちは様々な形で環境保全活動に関わることができ

ます。一人一人が意欲と主体性を持ち、人と環境との関係について理解を深め、良好な環境を将来の世代に引き継いでいきたいと思います。



関連個別計画	個別計画名	計画期間	個別計画名	計画期間
	森林整備計画	2021~2030	第四次地球温暖化対策実行計画(市役所事務事業編)	2023~2027
	第二次環境基本計画	2018~2027	第二次生活排水対策推進計画	2018~2027

こむねい
くろく
やむつわ
はぐくみ
きせいのりゅう
しんらい

施策
2-2



地球にやさしい循環型社会*の形成

施策で目指す姿

- ライフスタイルに応じた4R*活動等の普及・啓発を展開し、ごみの減量化を推進します。
- 不法投棄の防止やごみ処理施設の安定的な運営等により、廃棄物の適正な処理を推進します。
- 市民や事業者等に、さらなる省エネ活動の実践や再生可能エネルギーの利用を促し、脱炭素社会*の実現に向けたライフ・ビジネススタイルの定着を目指します。

施策の現状と課題

ごみ排出量の抑制

現状 ●ごみの減量化・資源化について、出前講座*や研修会等の開催を通じた意識啓発を図ってきましたが、市民一人当たりのごみの排出量は横ばい傾向にあります。
●家庭からのごみを減らすため、電気式生ごみ処理機の購入補助を行ってきました。

課題 ○市民・事業者・行政が連携し、ごみの減量化・資源化の具体的な行動にさらに取り組む必要があります。

混ぜればごみ、分ければ資源

現状 ●自治会未加入者等の増加に伴い、ごみの排出方法が市民にうまく伝わらないケースがあります。また、山林等への不法投棄は後を絶たない状況です。

課題 ○ごみの排出方法を分かりやすく周知するとともに、不法投棄の未然防止対策を強化します。また、安定的に処理できる新たなごみ処理施設の整備を進める必要があります。

地球規模で進む温暖化

現状 ●環境等に調和した再生可能エネルギー*の導入促進に加え、二酸化炭素吸収量を増加させるための森林整備等を推進してきました。

課題 ○事業者による温室効果ガス*排出削減に向けた取組や、環境に配慮したライフスタイルへの転換など、市民一人一人の意識をより高めていく必要があります。



(仮称)霧島市クリーンセンターの完成予想図

施策で目指す姿を実現するための基本事業

1 ごみの減量化・資源化

- 家庭ごみの減量化・資源化を推進するため、環境保全協会・地区自治公民館等と連携して4R活動を推進し、資源の有効活用を図ります。
- 生ごみ堆肥の作り方やごみの出し方・分け方を分かりやすく伝える仕組みづくりなど、個人で減量化・資源化に取り組みやすくなるよう、啓発方法を工夫します。



2 ごみの適正な排出・処理

- ごみの適正な排出を推進するため、ごみ分別促進アプリの周知を図るとともに、不法投棄を未然に防止するため、環境保全協会と連携して環境パトロールを行います。
- 安定的で効率的な廃棄物処理を行うため、新たなごみ処理施設の整備を進めます。



3 地球温暖化*対策の推進

- 環境等に調和した再生可能エネルギーの導入を促進するとともに、森林環境譲与税*を活用した森林整備等を行い、森林の二酸化炭素吸収量を増加させる取組を推進します。
- 省エネルギー等の普及・啓発活動を継続的に推進し、地球温暖化防止に向けた意識の醸成を図ります。

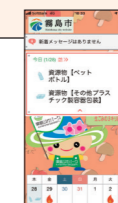


CHECK

ごみ分別促進アプリ「さんあーる」

スマートフォンで利用できる無料のアプリです。アプリをダウンロードすると次のような機能を使用できます。

- 分別検索 廃棄したい物の名前から、分別方法を検索できます。
- 資源・ごみ分別ガイド 詳しい分け方、出し方や注意点を確認できます。
- 収集日カレンダー 地域を設定すると、収集日をカレンダーで確認できます。収集日を知らせるアラーム機能もあります。



Android用



iPhone用

ごみわい
くらし
やわらか
はぐくみ
きまごころ
しんらい

「みんなができること」

everyone can do it!



市民一人一人で

- 必要なものを必要な量だけ買うようにするなど、できるだけごみの発生を少なくしましょう。
- 不用品は、リサイクルショップなどを活用して、再使用されるように努めましょう。
- ごみを正しく分別し、収集の日時を守って排出しましょう。
- 学校で学習した循環型社会*やSDGsの視点を家庭でも実践しましょう。
- 「COOL CHOICE」を実践し、地球温暖化*対策に努めましょう。



地域・団体・事業者等で

- それぞれ主催するバザーなどで、不用品の交換などに取り組みましょう。
- 事業所でのペーパーレス*化など、資源の有効活用に取り組みましょう。

INTERVIEW

ごみ分別促進アプリ「さんあーる」利用者
はげやま 樋山 みちる さん



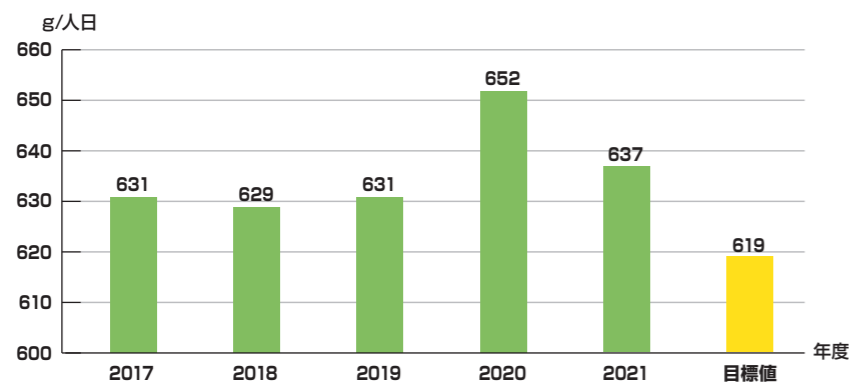
資源は有限
大事に使って正しく捨てて

ごみも正しく分別すれば、誰かに必要とされる資源になります。市が勧めるアプリ「さんあーる」は、ごみの分別方法や種類別の収集日を教えてくれるのでとても便利。出し忘れがなくなりました。私は着られなくなった服などもリサイクルに出しています。資源は有限。これからも大事に使って、正しく捨てていきたいですね。

施策の進捗状況を測るためのKPI

KPI (重要業績評価指標)	現状値	目標値
日頃からごみを減らすようにしている市民の割合	75.3% (2022)	85.0%
市民一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	637g (2021)	619g
リサイクル率	16.7% (2021)	19.7%
再生可能エネルギー*導入容量	366,236kW (2021)	549,622kW
市の事務事業*に由来する温室効果ガス*排出量	43,000t-CO ₂ (2021)	29,899t-CO ₂

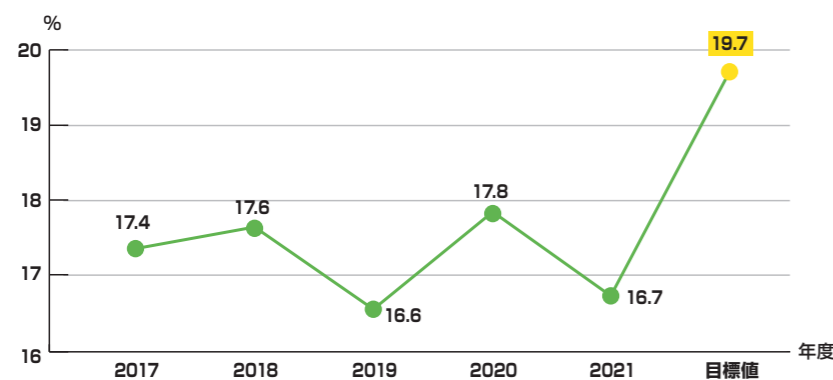
市民一人1日当たりの家庭系ごみの排出量



2020年度を除き、近年は横ばい傾向。主に生ごみの水分量を70%から65%に減らすことで、現状値の約3%減少を目指す。

出典：環境省・一般廃棄物処理事業実態調査

リサイクル率



近年は横ばい傾向。今後さらに不燃・粗大ごみを適正に分別し、資源化を推進することで、現状値の3%増加を目指す。

出典：環境省・一般廃棄物処理事業実態調査

Column 「COOL CHOICE(クール チョイス)」とは

「COOL CHOICE」とは、二酸化炭素などの温室効果ガス排出量削減のため、「低炭素型製品への買い換え」「低炭素サービスの利用」「低炭素なライフスタイルへの転換」など地球温暖化対策に貢献する、また快適な暮らしにもつながる、あらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。例えば、エコカーを買う、エコ住宅を建てる、エコ家電にする、公共交通機関を利用する、クールビズやウォームビズ、エコドライブ*を行う、ごみや食品ロスを減らす、節水するなど、ライフスタイルごとに誰でも可能なことであり、お財布にも優しい取組です。

人間の活動が生み出す温室効果ガスは地球温暖化を進め、人間自らの生活や自然の生態系に様々な影響を与えています。人間と自然が共生する持続可能な未来のためにも、私たち一人一人が「COOL CHOICE」という賢い選択をしていく必要があります。みんなで一丸となって、できることから取り組みましょう。

COOL CHOICE (環境省)の公式サイトはこちら



個別計画名	計画期間	個別計画名	計画期間
第二次環境基本計画	2018~2027	災害廃棄物処理計画	2021~
一般廃棄物処理計画(第3期)	2018~2027	第四次地球温暖化対策実行計画(市役所事務事業編)	2023~2027
分別収集計画(第10期)	2023~2027		

施策
2-3



快適生活の基盤づくりの推進

施策で目指す姿

- 住環境の計画的な整備を推進し、市民が快適さと暮らしやすさを実感し、安心して住み続けられるまちを目指します。
- 幹線道路のバイパス整備、地域の拠点施設を結ぶアクセス道路*の整備など、市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保を目指します。
- 社会情勢の変化に適応しながら、自然や産業等、地域の特性を生かした土地利用、景観の形成を図ることで、安全・快適に生活し続けられるまちを目指します。
- 上下水道施設等の計画的な整備・改修、耐震化等や、適切な排水処理施設への転換・接続を図り、水の安定供給と適正な排水処理を目指します。

施策の現状と課題

住環境の計画的な整備

現状 ●市営住宅や公園、土地区画整理事業*、超高速ブロードバンド*環境など、市民生活に密着した住環境の整備を計画的に進めてきました。

課題 ○限られた行政資源の中で、少子高齢化の進行など社会経済情勢の変化を踏まえた、より効率的で効果的な住環境の整備が求められています。

道路ネットワークの構築

現状 ●国・県道整備に関する要望活動を継続して行うとともに、バイパス道路*等の整備による道路ネットワークの構築を図ってきました。また、道路施設*の維持管理に努めてきました。

課題 ○市内の渋滞解消や、地域拠点間を結ぶための道路整備、道路施設の適切な維持管理が求められています。

適切な開発や景観形成への誘導

現状 ●開発行為*に伴う土地利用協議や景観行為*の審査を適切に行うとともに、太陽光発電所の維持管理や管理不全空き家*に対する指導を行ってきました。

課題 ○多様化する社会情勢の変化に適切に対応し、市民や事業者等との協働による良好な土地利用・景観形成を推進していく必要があります。

水環境の保全

現状 ●水道施設*の更新等に取り組みながら、水の安定供給を続けてきました。
●合併処理浄化槽*への転換促進や下水道整備など、適正な排水処理を進めてきました。

課題 ○災害等に強いライフライン*構築のため、水道施設等の更新・耐震化の整備を継続する必要があります。
○快適な生活環境等を実現するため、合併処理浄化槽へのさらなる転換促進や下水道整備を計画的に進めていく必要があります。

施策で目指す姿を実現するための基本事業

1



良質な住環境の整備

- 市営住宅等の長寿命化*や土地区画整理事業による住環境の整備を進めるとともに、建築物の耐震化などの支援等を通じ、住環境の安全性向上に努めます。
- 利用者の視点に立った多様なニーズに対応した公園づくりを進め、緑地の充実を図るとともに、地域住民と連携した維持管理を推進します。



2



道路ネットワークの構築と道路施設の維持

- 市内の渋滞解消のため、国・県道整備に関する要望活動を行うほか、バイパス道路や地域拠点施設間のアクセス道路の整備を推進し、道路ネットワークの構築を図ります。
- 橋梁・トンネル等の個別施設ごとに策定する長寿命化計画等に基づき、予防保全対策や補修等を計画的に実施します。



3

計画的な土地の活用と良好な景観づくり

- 社会情勢の変化に適応した、適切な土地利用の規制・誘導や景観条例*等の制度啓発により、利便性の高い安全・安心な都市形成を推進します。
- 管理不全空き家の所有者に対する指導を行うとともに、老朽危険空き家*の解体撤去に関する補助制度の周知強化と危険廃屋の撤去を促進し、周辺住民の安全を確保します。



4

水の安定供給と適正な排水処理

- 「安全でおいしい水の供給」「災害等からの迅速な復旧」「健全・安定的な事業運営」の3つの観点から水の安定供給を目指します。
- 下水道整備や合併処理浄化槽の普及推進・適正管理など、地域の実情に応じた排水処理を推進します。



こぎわい

くらこ

やわこわ

はぐみ

きよこやう

しんらい

「みんなができること」

everyone can do it!



市民一人一人で

- 道路・公園・広場等の清掃、草払い等の環境保全活動に協力しましょう。
- 公園利用のマナー向上に努めましょう。
- 道路の異常や漏水などを発見した場合は、速やかに関係機関へ通報しましょう。
- 景観に関心を持ち、身近な住環境の向上のためにできることに取り組みましょう。
- 空き家の所有者や管理者は、適正管理に努めましょう。
- 家庭でできる生活排水対策を実践しましょう。
- 下水道が整備されている区域で未接続の方は、速やかに下水道へ接続しましょう。



事業者等で

- 生活に必要なライフライン(水道、電気、ガス、通信など)を提供する事業者は、安全・快適で安定したサービス等の提供に努めましょう。
- 関連法規(建築基準法等)を遵守し、景観や近隣との調和に配慮した街並みの形成に努めましょう。
- 下水道が整備されている区域で未接続の事業者等は、速やかに下水道へ接続しましょう。

INTERVIEW

公園利用者
おかどめ 岡留 千秋 さん



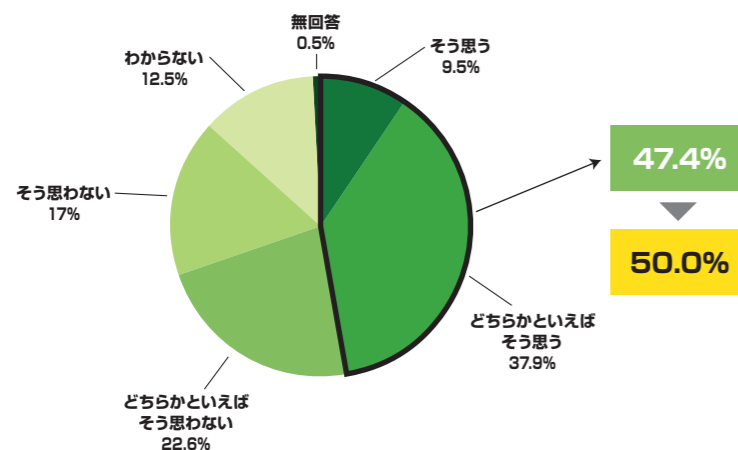
みんなの公園
みんなで大切に

子ども3人と近くの公園によく行きます。広くて、球技や遊具遊びができるほか、健康器具もあり、いろいろな方に親まれていますよ。霧島市には、花見やイベントができる河川公園などもあり、家族で憩う環境に恵まれていますね。たまに落書きやごみがあるのが残念。みんなの公園、みんなで大切に使ってみたいです。

施策の進捗状況を測るためのKPI

KPI (重要業績評価指標)	現状値	目標値
ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合	64.3% (2022) ↑	66.8%
都市公園※内の更新・新設した公園施設数(累計)	17件 (2021) ↑	35件
市道の改良率	48.3% (2021) ↑	48.9%
地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合	47.4% (2022) ↑	50.0%
生活排水処理率※	80.5% (2021) ↑	89.5%

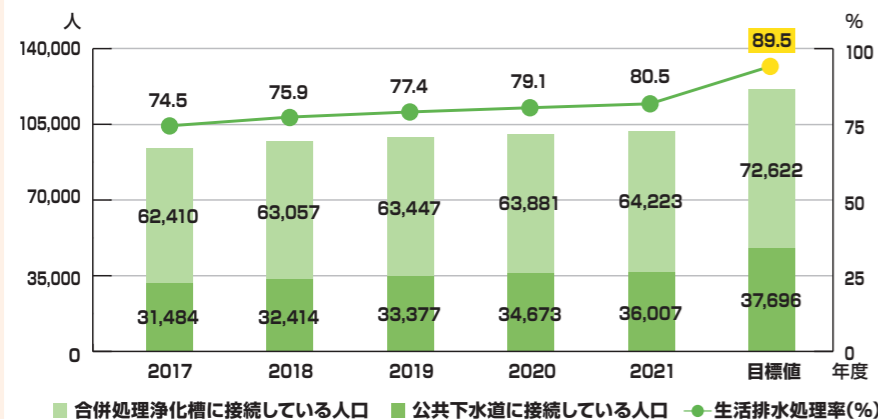
地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合



現状値は設問「霧島市は、地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと思いますか」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の割合。現状値の2.6%増加を目指す。

出典:市民意識調査

生活排水処理率



公共下水道か合併処理浄化槽に接続し、し尿や生活雑排水を処理している人口割合。現状値の9%増加を目指す。

出典:環境衛生課・市生活排水対策推進計画

Column 空き家が減らない理由

空き家が適正に管理されず放置されると、防災や防犯、衛生など、地域住民の生活環境に深刻な悪影響を及ぼすこととなります。空き家が迷惑な“負”動産であれば解体すればよいのですが、簡単にはいきません。まず権利関係の問題として、建物自体が未登記であったり、建物の所有者の死亡後に名義変更されなかったりするケースでは、月日が経った後、その建物を解体できる権利者が分からなくなる事態が生じます。経済的な問題としては、解体に多額の費用がかか

ることや、建物がなくなった土地は固定資産税の特例がなくなり、税率が上がってしまうことが挙げられます。また、思い出しの詰まった家を壊したくないという人も。

そこで本市では、相続や空き家の売買などについての相談業務、老朽危険空き家*を取り壊す場合の工事費用の一部助成を行っています。空き家の放置は、隣人トラブルや倒壊などにより賠償問題に発展することもある。空き家になる前に、関係者一同で対応を検討しておくことも大切です。

関連個別計画	個別計画名	計画期間	個別計画名	計画期間
	都市計画マスタープラン	2020~2039	公園施設長寿命化計画	2014~2023
景観計画	2012~	水道事業基本計画	2017~2038	
公営住宅等長寿命化計画	2022~2031	新水道ビジョン(水道事業経営戦略)	2017~2028	
建築物耐震改修促進計画	2019~2025	工業用水道事業経営戦略	2021~2030	
空家等対策計画	2023~2027	公共下水道事業計画	2021~2027	
橋梁長寿命化修繕計画	2012~2024	特定環境保全公共下水道事業計画	2016~2029	
道路トンネル個別施設計画	2018~2027	下水道事業経営戦略	2021~2030	
舗装維持管理計画	2019~2026	第二次生活排水対策推進計画	2018~2027	

施策
2-4



市民生活の安全性の向上

施策で目指す姿

- 災害に備えた危機管理と防災力の充実、強化を図るとともに、市民との連携による総合的な防災対策に取り組みます。
- 火災予防啓発活動を通じて、火災発生を未然に防ぐとともに、救急隊員と応急手当を習得した市民との連携による救命率の高い救急・救助活動の推進に取り組みます。
- 市民・警察・事業者等と一体となり、交通事故や犯罪が起きにくいまちを目指します。
- 消費者被害の未然防止と被害拡大の防止に努めます。

施策の現状と課題

自然災害の激甚化と防災対策の強化

現状 ● 近年、気候変動による大雨や台風の激甚化により、土砂災害、浸水被害が拡大・頻発しているほか、火山噴火や大規模地震発生に伴う被害も懸念されています。
● 消防団は、団員数が減少傾向にあり、団員の高齢化も進んでいます。

課題 ○ 自主防災組織*の活性化や市民の防災意識向上などにより、地域の防災力強化を図っていく必要があります。

火災発生状態や救急・救助需要の多様化

現状 ● 近年、火災の発生件数は減少傾向にありますが、高齢化の進行やライフスタイルの変化に伴い、火災発生の状態や救急・救助需要も多様化しています。

課題 ○ 消防団と連携し、火災予防啓発活動の強化を図る必要があります。
○ 誰もが的確な応急手当や救命措置ができるよう、救命講習等を推進していく必要があります。

交通事故・犯罪の未然防止

現状 ● 高齢者の交通死亡事故は依然として多く、インターネットを悪用した犯罪も増えています。

課題 ○ 交通安全教育と高齢者運転免許証自主返納制度*を促進し、交通事故を防ぐ必要があります。
○ 警察や関係機関と連携し、地域の防犯力とインターネットによる犯罪の未然防止を強化する必要があります。

消費者の安全・安心の確保

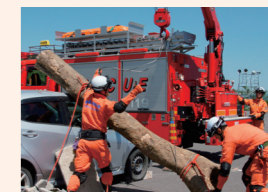
現状 ● 高齢化の進行、デジタル化の進展に伴い、消費者被害の内容等も多様化・複雑化しています。

課題 ○ 消費者自身が被害を回避し、被害に遭った場合でも適切に対処できる知識や判断力を養うための広報・啓発を推進する必要があります。
○ 市消費生活センター*の相談体制の機能強化を図り、消費者被害の未然防止や早期救済に努める必要があります。

施策で目指す姿を実現するための基本事業

1 防災基盤の整備と災害復旧対策の推進

- 災害危険箇所の整備や治水対策、危険箇所に立地する住宅の移転促進等の事業を実施し、災害の未然防止に努めます。
- 災害発生後は、被害拡大や二次災害*の防止・早期復旧に努めます。
- 地区防災計画*の作成支援や防災訓練等を通じ、防災知識の普及・啓発を行うとともに、消防団員の確保のため、若者や女性の加入促進を図ります。



2 火災の予防と救急・救助体制の充実

- 火災予防広報や防火教室等を通じて、火災発生の未然防止や、住宅用火災警報器の設置と適切な維持管理を促進します。
- 普通救命講習*等を通じ、応急手当の習得を促進します。
- 教育訓練を通じ、消防職員や団員の人材育成を図るとともに、防災施設等の計画的な整備を進めます。



3 交通安全・防犯対策の推進

- 警察や各種団体と連携し、高齢者の交通事故抑止と運転免許証の自主返納を促進します。また、道路反射鏡・防護柵等の整備により、交通事故が起きにくい環境整備に努めます。
- 防犯パトロール隊*の活動支援により、地域の防犯力を高めるとともに、防犯灯*・安全灯*の計画的な整備により、犯罪の起きにくい環境整備に努めます。



4 健全な消費生活の推進

- メディアなどを活用し、消費者被害の未然防止や被害拡大防止などに向けた情報提供の充実を図ります。
- 消費生活相談員の資質向上など、相談体制の充実や市消費生活センターの認知度向上を図ります。



こがわい
くろこ
やわかわ
はぐくみ
きみじょう
しんらい

「みんなができること」

everyone can do it!



市民一人一人で

- 避難経路の確認や非常用品の準備など、日頃から災害に備えましょう。
- 急病人等の発生時は、応急手当や迅速な通報を行いましょう。
- 住宅用火災警報器の設置や適切な維持管理など、火災予防に取り組みましょう。
- 交通ルールやマナーを遵守しましょう。
- 見守り活動・防犯パトロール等の活動に協力しましょう。
- 消費者被害に遭わないように、消費生活に関する知識を習得しましょう。



地域で

- 災害被害を最小限にとどめるため、自主防災組織*を育成・強化しましょう。
- 防災訓練や防災知識の普及・啓発活動など、市が行う防災活動に協力しましょう。
- 悪質商法被害を防ぐため、地域で声を掛け合いましょう。



事業者で

- 消費者が安心して商品やサービスの提供を受けられるような事業活動・情報開示を行いましょう。



救命講習の受講者
永井 未来さん



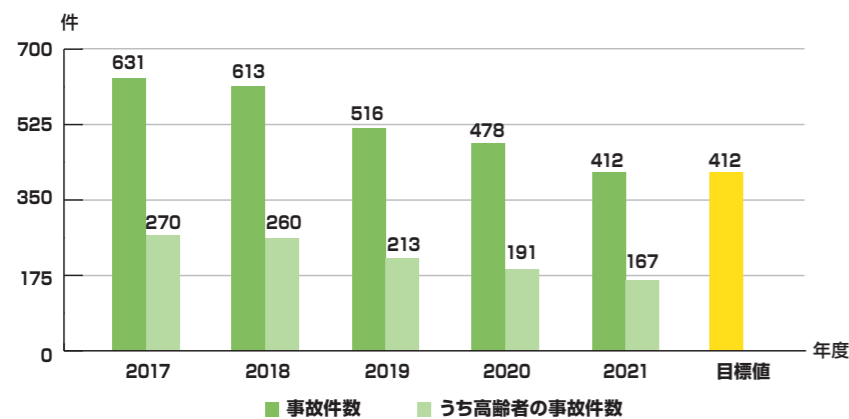
救命の成否
市民の処置が鍵

勤務先の研修の一環で、市消防局の救命講習を受講。現場で市民が取るべき行動やマネキンでの心肺蘇生・AEDの演習など、とても実践的な内容でした。救急車が到着するまでの処置が生死を分ける救命の現場。もし、大切な人が目の前で倒れても、私の手で助けられるように、学んだことをしっかり身に付けたいです。

施策の進捗状況を測るためのKPI

KPI (重要業績評価指標)	現状値	目標値
「きりしま防災・行政ナビ」のダウンロード件数(累計)	6,840件 (2021) ↑	11,840件
救急講習等を受講した市民の割合	2.0% (2021) ↑	9.0%
交通事故発生件数(人身・暦年)	412件 (2021) ↓	412件以下
刑法犯罪認知件数(暦年)	369件 (2021) ↓	350件
市消費生活センター*の認知度	47.0% (2022) ↑	52.0%

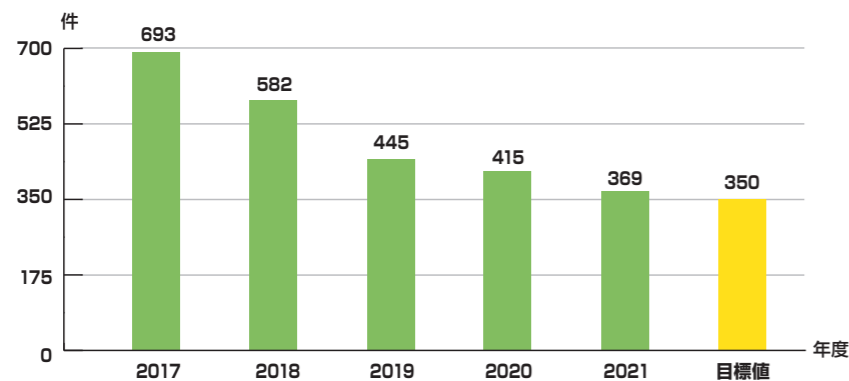
交通事故発生件数(人身・暦年)



人身事故件数と高齢者の占める割合は減少傾向。さらなる交通安全対策を推進し、本市の第11次交通安全計画の目標値412件以下を目指す。

出典:鹿児島県警察本部・交通統計

刑法犯罪認知件数(暦年)



犯罪件数は減少傾向にあるが、近年はインターネット等を悪用したサイバー犯罪の増加も懸念されることから、現状値の約5%減少を目指す。

出典:鹿児島県警察本部・鹿児島市の犯罪、市町村別の犯罪発生実態

Column きりしま防災・行政ナビを利用しよう

「きりしま防災・行政ナビ(略称:きり防ナビ)」は本市の公式アプリとして、防災情報などを登録者のスマートフォン等に直接お知らせするツールです。このアプリをダウンロードしておけば、本市からの重要な情報をいつでも、どこでもキャッチできます。

ほかにも、最新の市ハザードマップで様々な自然災害リスクのあるエリアや避難所の混雑情報を確認できたり、市の広報誌やホームページなどへも簡単にアクセスできたりするなど、安全・安心や生活にプラスとなる機能が満載です。ぜひ、日常

から災害時まで様々なシーンでお役立てください。



個別計画名	計画期間
地域防災計画	2007~
国民保護計画	2007~
国土強靱化地域計画	2023~2027

個別計画名	計画期間
災害廃棄物処理計画	2021~
第11次交通安全計画	2021~2025